

平成28年8月1日

平成29年3月期第1四半期決算について

武蔵野銀行（頭取 加藤喜久雄）の平成29年3月期第1四半期決算について、別添のとおりお知らせします。

なお、本件につきましては、本日東京証券取引所においても同時に発表しております。

以 上

報道機関からのお問い合わせ先

総 合 企 画 部 武 川

TEL (048) 643-6468





平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月1日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 武蔵野銀行

コード番号 8336 URL <http://www.musashinobank.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役頭取

(氏名) 加藤 喜久雄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総合企画部長

(氏名) 黒澤 進

TEL 048-641-6111

四半期報告書提出予定日 平成28年8月5日

特定取引勘定設置の有無 無

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	18,255	△4.9	4,541	△16.1	3,460	△0.2
28年3月期第1四半期	19,207	0.1	5,413	28.3	3,469	22.8

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 240百万円 (△95.0%) 28年3月期第1四半期 4,915百万円 (△30.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	103.19	103.11
28年3月期第1四半期	103.48	103.40

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	4,306,667	227,648	5.2
28年3月期	4,328,909	229,078	5.2

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 226,401百万円 28年3月期 227,847百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。
なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	40.00	—	50.00	90.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	40.00	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

28年3月期期末配当金の内訳 普通配当40円00銭 特別配当10円00銭

3. 平成29年 3月期の連結業績予想(平成28年 4月 1日～平成29年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	35,200	△6.5	7,000	△30.6	5,100	△20.1	152.08
通期	70,000	△5.8	14,000	△25.4	9,700	△22.7	289.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	33,805,456 株	28年3月期	33,805,456 株
29年3月期1Q	270,575 株	28年3月期	270,428 株
29年3月期1Q	33,534,916 株	28年3月期1Q	33,534,110 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、現在当行が入手可能な情報及び現時点での判断、評価、事実認識に基づいた仮定を前提としており、当行としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後予想される様々な要因(国内外の経済、株式市場等の状況変化)によって異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報

- (1)連結経営成績に関する定性的情報…………… P. 2
- (2)連結財政状態に関する定性的情報…………… P. 2
- (3)連結業績予想に関する定性的情報…………… P. 2

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示…………… P. 2

3. 四半期連結財務諸表等

- (1)四半期連結貸借対照表…………… P. 3
- (2)四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書…………… P. 5
- (3)継続企業の前提に関する注記…………… P. 7
- (4)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記…………… P. 7

4. 決算補足説明資料

- (1)損益の状況 …… (単体)…………… P. 8
- (2)金融再生法ベースのカテゴリーによる開示 …… (単体)…………… P. 9
- (3)自己資本比率(国内基準) …… (単体・連結)…………… P. 9
- (4)預金等・預り資産及び貸出金の残高 …… (単体)…………… P. 10
- (5)時価のある有価証券の評価差額 …… (連結)…………… P. 11
- (6)デリバティブ取引…(連結)…………… P. 11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の経常収益は、貸出金利息を主因とする資金運用収益の減少等により前年同期比9億51百万円減少し182億55百万円となりました。

経常費用は、国債等債券売却損を主因とするその他業務費用の減少等により前年同期比79百万円減少し137億14百万円となりました。

この結果、経常利益は前年同期比8億72百万円減少し45億41百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同9百万円減少し34億60百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末比222億円減少し4兆3,066億円、純資産は前連結会計年度末比14億円減少し2,276億円となりました。

主要な勘定残高は、預金が前連結会計年度末比149億円減少し3兆8,301億円、貸出金が前連結会計年度末比590億円減少し3兆2,600億円となりました。有価証券は、前連結会計年度末比71億円減少し7,575億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成29年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期連結業績予想については、平成28年5月13日公表の数値から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる、当第1四半期連結累計期間の経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

（追加情報）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表等

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
現金預け金	149,402	194,683
買入金銭債権	11,553	5,731
商品有価証券	495	446
金銭の信託	1,490	1,498
有価証券	764,664	757,534
貸出金	3,319,167	3,260,095
外国為替	2,315	2,660
リース債権及びリース投資資産	19,125	18,782
その他資産	21,071	24,272
有形固定資産	37,584	37,402
無形固定資産	3,176	3,130
退職給付に係る資産	5,173	5,383
繰延税金資産	1,233	1,233
支払承諾見返	7,730	7,872
貸倒引当金	△15,273	△14,060
資産の部合計	4,328,909	4,306,667
負債の部		
預金	3,845,034	3,830,121
譲渡性預金	155,827	146,121
コールマネー及び売渡手形	-	6,174
債券貸借取引受入担保金	7,257	7,658
借入金	18,494	18,538
外国為替	336	233
社債	25,000	25,000
その他負債	23,490	22,303
賞与引当金	1,253	314
役員賞与引当金	10	2
退職給付に係る負債	4,363	4,238
利息返還損失引当金	57	42
睡眠預金払戻損失引当金	539	687
ポイント引当金	68	68
偶発損失引当金	412	389
繰延税金負債	5,727	5,026
再評価に係る繰延税金負債	4,227	4,227
支払承諾	7,730	7,872
負債の部合計	4,099,830	4,079,019

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成28年 6 月30日)
純資産の部		
資本金	45,743	45,743
資本剰余金	38,351	38,351
利益剰余金	113,922	115,706
自己株式	△804	△804
株主資本合計	197,213	198,996
その他有価証券評価差額金	27,116	24,331
繰延ヘッジ損益	△2,056	△2,668
土地再評価差額金	8,286	8,286
退職給付に係る調整累計額	△2,712	△2,544
その他の包括利益累計額合計	30,633	27,404
新株予約権	74	80
非支配株主持分	1,157	1,166
純資産の部合計	229,078	227,648
負債及び純資産の部合計	4,328,909	4,306,667

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第 1 四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 6 月30日)
経常収益	19,207	18,255
資金運用収益	11,820	11,071
(うち貸出金利息)	9,633	9,078
(うち有価証券利息配当金)	2,108	1,941
役務取引等収益	3,140	3,098
その他業務収益	637	397
その他経常収益	3,608	3,687
経常費用	13,793	13,714
資金調達費用	758	553
(うち預金利息)	438	262
役務取引等費用	458	555
その他業務費用	520	260
営業経費	9,286	9,570
その他経常費用	2,769	2,774
経常利益	5,413	4,541
特別損失	7	0
固定資産処分損	7	0
税金等調整前四半期純利益	5,406	4,540
法人税、住民税及び事業税	1,272	462
法人税等調整額	647	606
法人税等合計	1,920	1,068
四半期純利益	3,485	3,471
非支配株主に帰属する四半期純利益	15	11
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,469	3,460

【四半期連結包括利益計算書】

【第 1 四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 6 月30日)
四半期純利益	3,485	3,471
その他の包括利益	1,429	△3,230
その他有価証券評価差額金	1,319	△2,786
繰延ヘッジ損益	165	△611
退職給付に係る調整額	△55	167
四半期包括利益	4,915	240
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,898	231
非支配株主に係る四半期包括利益	16	9

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 決算補足説明資料

(1) 損益の状況 … (単体)

① 実質業務純益 36 億円

実質業務純益は、低位で推移する市場金利を背景に貸出金利息を主因とし資金利益が減少したこと等から、前年同期比 5 億円減少の 36 億円となりました。

この結果、第2四半期累計期間予想 63 億円に対する進捗率は 57%で推移しております。

② 経常利益 40 億円

経常利益は、株式3勘定戻が減少したこと等から、前年同期比 9 億円減少の 40 億円となりました。

この結果、第2四半期累計期間予想 62 億円に対する進捗率は 64%で推移しております。

③ 四半期純利益 31 億円

四半期純利益は、前年同期比 0.7 億円減少し 31 億円となり、第2四半期累計期間予想 46 億円に対する進捗率は 67%で推移しております。

(単位：億円)

	平成 29 年 3 月期 第 1 四半期 累計期間 (A)	平成 28 年 3 月期 第 1 四半期 累計期間 (B)	比 較 (A - B)	平成 29 年 3 月期 第 2 四半期 累計期間 (予想)	平成 28 年 3 月期 第 2 四半期 累計期間 (実績)
業 務 粗 利 益	126	132	△6		256
資 金 利 益	105	110	△5		217
役務取引等利益	21	23	△1		40
その他業務利益	△0	△1	0		△1
うち債券5勘定戻	0	△4	4		△3
経 費 (除く臨時処理分) (△)	89	90	△0		177
実 質 業 務 純 益 (一般貸倒引当金繰入前)	36	42	△5	63	78
コ ア 業 務 純 益	36	46	△10		82
一般貸倒引当金繰入額 (△)	△0	△0	△0		△4
業 務 純 益	37	42	△5		83
臨 時 損 益	3	7	△3		5
株式3勘定戻	0	5	△5		13
不良債権処理費用 (△)	2	3	△0		15
償却債権取立益	6	0	6		2
その他臨時損益	△0	3	△4		4
経 常 利 益	40	50	△9	62	88
特 別 損 益	△0	△0	0		△0
税引前四半期 (中間) 純利益	40	49	△9		88
法人税、住民税及び事業税 (△)	3	11	△8		28
法人税等調整額 (△)	5	6	△0		3
法人税等合計 (△)	8	17	△8		31
四半期 (中間) 純利益	31	32	△0	46	56

(注1) 記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

(注2) コア業務純益とは、業務純益に対し一般貸倒引当金繰入額と債券5勘定戻を加減調整したものです。

(注3) 平成29年3月期第2四半期累計期間 (予想) につきましては、平成28年5月13日公表の予想から変更はありません。

<参考>

与信関係費用 (単体)

(単位：億円)

	平成29年3月期 第1四半期 累計期間 (A)	平成28年3月期 第1四半期 累計期間 (B)	比 較 (A - B)
不良債権処理費用	2	3	△0
一般貸倒引当金繰入額	△0	△0	△0
償却債権取立益 (△)	6	0	6
合 計	△4	2	△7

(2) 金融再生法ベースのカテゴリーによる開示 … (単体)

金融再生法ベースの開示債権は、平成28年3月末比19億円減少し、660億円となりました。
不良債権比率につきましては、平成28年3月末比0.02%低下し、2.00%となりました。

(単位：億円)

	平成28年6月末	平成28年3月末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	99	△2
危険債権	412	△17
要管理債権	148	△1
合 計 (開示債権額)	660	△19

(参考) (単位：億円)

平成28年3月末
101
429
149
679

(単位：%)

総与信に占める開示債権額の比率 (不良債権比率)	2.00	△0.02
-----------------------------	------	-------

(参考) (単位：%)

2.02

(注) 上記の平成28年6月末の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しております。

また、各開示区分の金額は、平成28年3月末から同6月末までの倒産・不渡り等の客観的な事実及び行内格付の変動等を反映させた同6月末時点での当行の定める自己査定基準に基づく各残高を記載しております。

なお、新たに「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」と認められる金額のうち、無価値と認められる部分については直接償却相当額として当該金額を減額しております。

(参考) 債務者区分との関係

破産更生債権及びこれらに準ずる債権・・・実質破綻先、破綻先の債権
危険債権・・・破綻懸念先の債権
要管理債権・・・要注意先債権のうち、3ヵ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権に該当する債権

(3) 自己資本比率 (国内基準) … (単体・連結)

平成28年6月末時点の自己資本比率につきましては、算出次第公表いたします。

(4) 預金等・預り資産及び貸出金の残高 … (単体)

① 預金等及び預り資産

譲渡性預金を含めた預金等残高は、個人預金の増加を主因に、前年同月末比 121 億円(年率 0.30%)増加し、3兆 9,875 億円となりました。

預り資産残高は、合計で前年同月末比 284 億円(年率 4.17%)増加し、7,102 億円となりました。

	(単位：億円、%)			(参考)(単位：億円)	
	平成 28 年 6 月末	平成 27 年 6 月末比	年間増加率	平成 27 年 6 月末	平成 28 年 3 月末
預金等残高	39,875	121	0.30	39,754	40,123
預金残高	38,335	△285	△0.73	38,620	38,489
うち個人預金残高	29,583	154	0.52	29,429	29,362
譲渡性預金残高	1,540	406	35.86	1,133	1,634
預り資産残高	7,102	284	4.17	6,817	7,122
投資信託残高	1,512	△74	△4.68	1,586	1,601
年金保険残高	4,710	575	13.91	4,134	4,599
国債残高	880	△216	△19.70	1,096	921
預金等・預り資産 合計	46,978	406	0.87	46,572	47,246

② 貸出金

貸出金残高は、貸出資産の健全性を堅持する方針のもと、県内地元企業及び個人のお客さまのニーズにお応えすべく、積極的に取り組み良質な貸出金の増強に努めました結果、前年同月末比 816 億円(年率 2.55%)増加し、3兆 2,735 億円となりました。

	(単位：億円、%)			(参考)(単位：億円)	
	平成 28 年 6 月末	平成 27 年 6 月末比	年間増加率	平成 27 年 6 月末	平成 28 年 3 月末
貸出金残高	32,735	816	2.55	31,918	33,331
うち中小企業等貸出金残高	25,005	508	2.07	24,496	25,555
うち住宅ローン残高	8,869	16	0.19	8,852	8,906

(5) 時価のある有価証券の評価差額 … (連結)

時価のある有価証券の評価損益は348億円のプラス、うち、株式の評価損益は172億円のプラス、債券の評価損益は174億円のプラスとなりました。

① その他有価証券

(単位：億円)

	平成28年6月末			
	四半期連結 貸借対照表 計上額	評 価 差 額	うち益	うち損
その他有価証券	7,438	348	410	62
株式	450	172	198	26
債券	5,292	174	174	0
その他	1,696	1	37	35

(参考)

(単位：億円)

平成28年3月末			
連結 貸借対照表 計上額	評 価 差 額	うち益	うち損
7,564	387	421	33
483	209	224	14
5,201	155	155	0
1,879	22	40	18

(注)「評価差額」及び「含み損益」は、帳簿価額（償却原価法適用後）と時価との差額を計上しております。

② 満期保有目的の債券

(単位：億円)

	平成28年6月末			
	時 価	差 額	うち益	うち損
満期保有目的の債券	164	0	0	0

(参考)

(単位：億円)

平成28年3月末			
時 価	差 額	うち益	うち損
169	0	0	0

(注)「差額」及び「含み損益」は、帳簿価額（償却原価法適用後）と時価との差額を計上しております。

(6) デリバティブ取引 … (連結)

① 金利関連取引

(単位：億円)

(参考)

(単位：億円)

区 分	種 類	平成28年6月末		
		契約額等	時 価	評価損益
金融商品取引所	金利先物	—	—	—
	金利オプション	—	—	—
店 頭	金利スワップ	33	△0	△0
合 計		—	△0	△0

平成28年3月末		
契約額等	時 価	評価損益
—	—	—
—	—	—
36	△0	△0
—	△0	△0

(注) ヘッジ会計を適用しているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

② 通貨関連取引

(単位：億円)

(参考)

(単位：億円)

区 分	種 類	平成28年6月末		
		契約額等	時 価	評価損益
金融商品取引所	通貨先物	—	—	—
	通貨オプション	—	—	—
店 頭	通貨スワップ	525	26	26
	為替予約	61	0	0
合 計		—	27	27

平成28年3月末		
契約額等	時 価	評価損益
—	—	—
—	—	—
583	9	9
56	0	0
—	9	9

(注) ヘッジ会計を適用しているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

③株式関連取引、④債券関連取引、⑤商品関連取引及び⑥クレジット・デリバティブ取引については該当事項はありません。

以 上